

2027年2月期

第2四半期（中間期）

決算補足説明資料

2026年10月14日

シンメンテホールディングス株式会社
（東証グロース：6086）

■第2四半期（中間期）過去最高の業績達成

売上高 **168億49百万円**(前期比9.4%増)

経常利益 **13億28百万円**(前期比11.2%増)

■株式会社三機サービスとの経営統合を発表

相互信頼・対等の精神に基づく経営統合により、お客様への提供価値と企業価値をともに向上させる。

1. シンメンテホールディングスについて
2. 2027年2月期 第2四半期（中間期）決算報告
3. 経営統合契約の締結について
4. 2027年2月期 通期業績予想
5. Q&A

1

シンメンテホールディングスに ついて

経営理念 ビジネスモデル

経営理念

夢新（むしん、ゆめあらた）

豊かな人生、豊かな社会の実現という夢をもち、新たな挑戦を続ける集団でありたいと考えております。

ビジネスモデル

- チェーン展開している店舗・施設の設備・機器のトータルメンテナンスサービスを提供。
- 業界最大規模の全国メンテキーパーネットワークを駆使した迅速かつローコストサービスを提供する仕組みが強み。



お客様の業態

■飲食業界で培った経験・ノウハウを活用し、物販等、チェーン展開をしている様々なお客様の店舗・施設設備の不具合を解決し続けている。

飲食

- ・居酒屋
- ・カジュアルレストラン
- ・高級レストラン
- ・ファーストフード
- ・弁当、総菜
- ・喫茶、カフェ
- ・焼肉、ステーキハウス
- ・寿司
- ・中華
- ・料亭
- ・定食、そばうどん
- ・ビアホール



物販・小売

- ・ドラッグストア
- ・調剤薬局
- ・家電量販店
- ・家具・インテリア専門店
- ・ホームセンター
- ・100円ショップ
- ・紳士服専門店
- ・カジュアル衣料専門
- ・メガネ専門店
- ・生活雑貨
- ・書店
- ・靴専門店
- ・スポーツ用品専門店
- ・パソコン専門店
- ・サイクルショップ
- ・自動車販売業
- ・中古車販売
- ・ガソリンスタンド
- ・リカーショップ
- ・食品スーパー
- ・コンビニ



介護・理美容・その他

- ・介護（施設系サービス）
- ・介護（在宅系サービス）
- ・美容室
- ・理容室
- ・エステ
- ・温浴施設
- ・フィットネス
- ・整体マッサージ
- ・カラオケ、漫画喫茶
- ・ペットショップ
- ・学習塾
- ・ホテル
- ・コインランドリー
- ・社員寮
- ・自治体、公共事業
- ・医療施設



チェーン展開している店舗・施設にサービスを提供

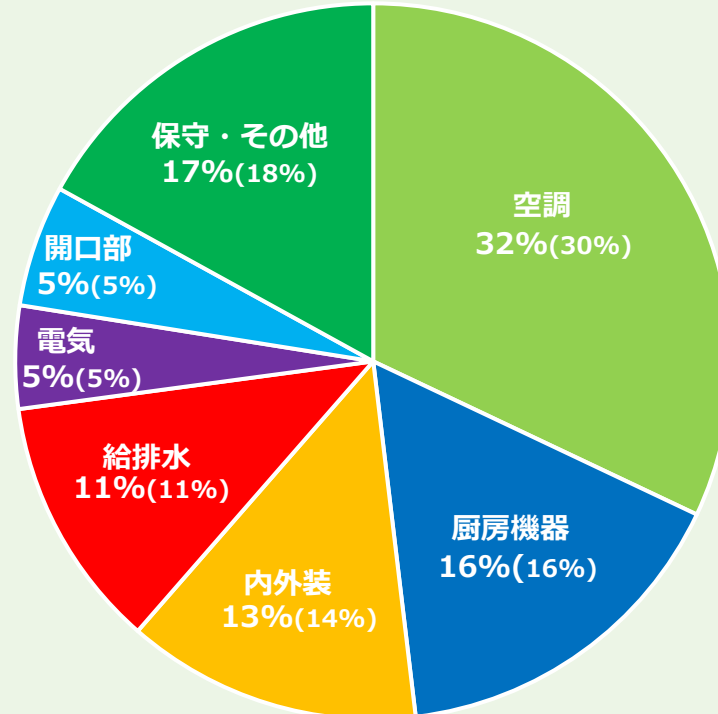
メンテナンス サービスアイテム

■24時間365日 幅広いメンテナンスサービスを提供。主に、緊急メンテ、Pメンテ、保守サービス。

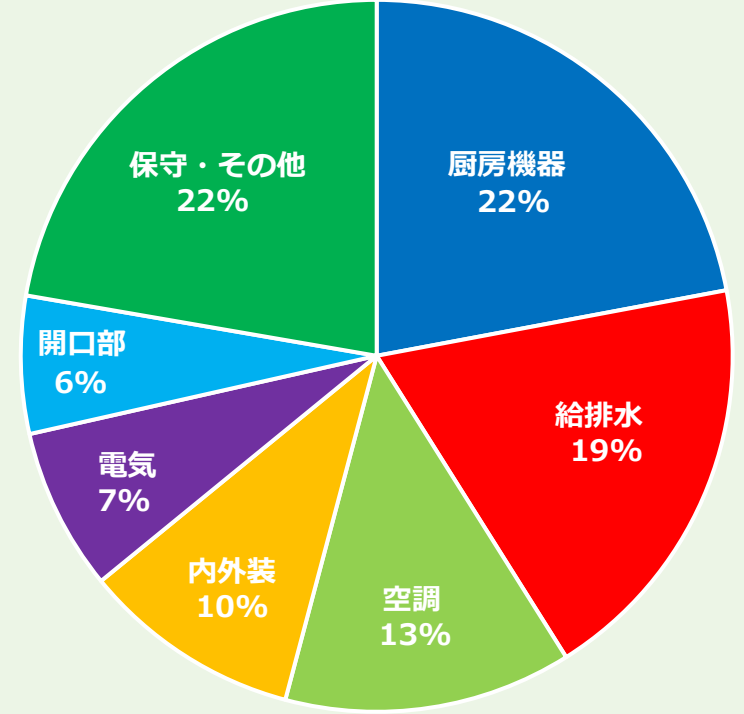
※Pメンテとは、ビッグデータに基づき、各店舗に合わせた最適なメンテナンス計画を提案、実施する計画修繕のことである。



売上高構成比



対応依頼件数構成比



※各円グラフの集計期間は2026年3月～2026年8月

※売上構成比()内は2025年3月～2025年8月の割合

※その他の内訳
消防点検、廃棄物管理など

※開口部の内訳
扉・鍵・ガラスなど

2

2027年2月期 第2四半期（中間期） 決算報告

(単位：百万円、%)

第2四半期（中間期） 決算の概況

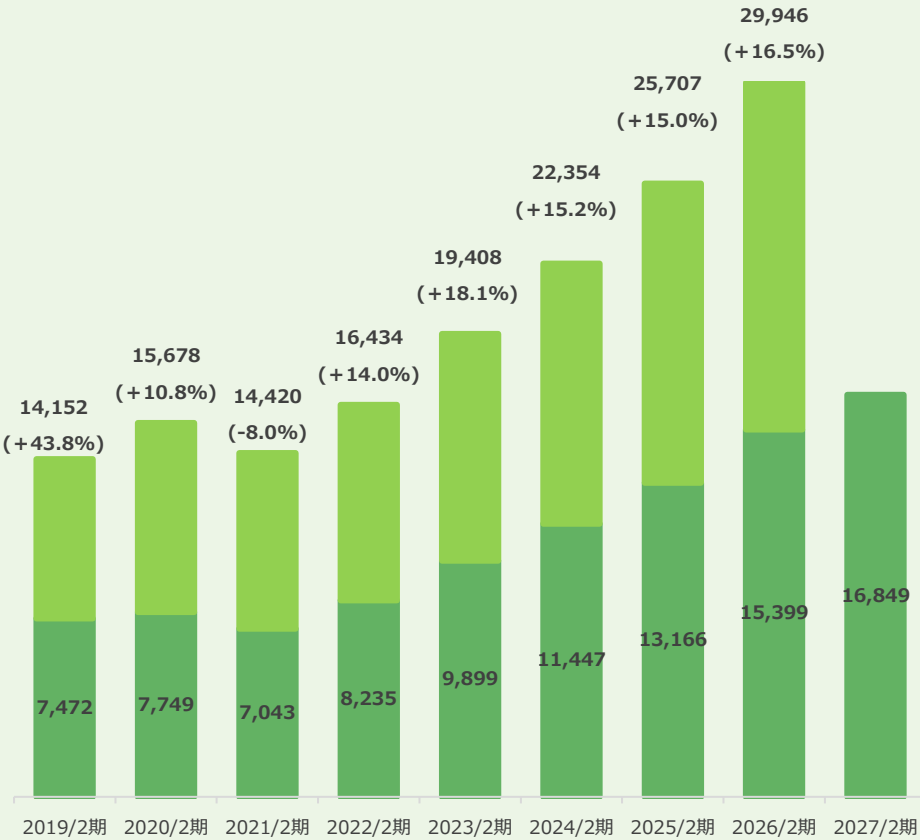
- 売上高
昨夏同様、飲食業界に限らず幅広い業界の受注獲得により、第2四半期として過去最高売上高となった。
- 売上総利益
物価高による資材価格上昇等の影響もあるが、継続した原価の適正低減策により売上総利益率は増加した。
- 販管費
賃上げによる人件費増を含み、販管費率は前期同水準を維持した。
- その他
営業外収益として受取配当金18百万円を計上した。

損 益	2026年2月期 第2四半期 実績		2027年2月期 第2四半期 実績		前期増減	
	構成比		構成比		増減率	
売上高	15,399	100.0	16,849	100.0	1,450	9.4
売上総利益	3,508	22.8	3,925	23.3	417	11.9
販管費	2,350	15.3	2,619	15.5	268	11.4
営業利益	1,157	7.5	1,306	7.8	149	12.9
経常利益	1,195	7.8	1,328	7.9	133	11.2
親会社株主に帰属する 中間純利益	768	5.0	899	5.3	130	17.0

売上高/経常利益 の推移

【売上高】

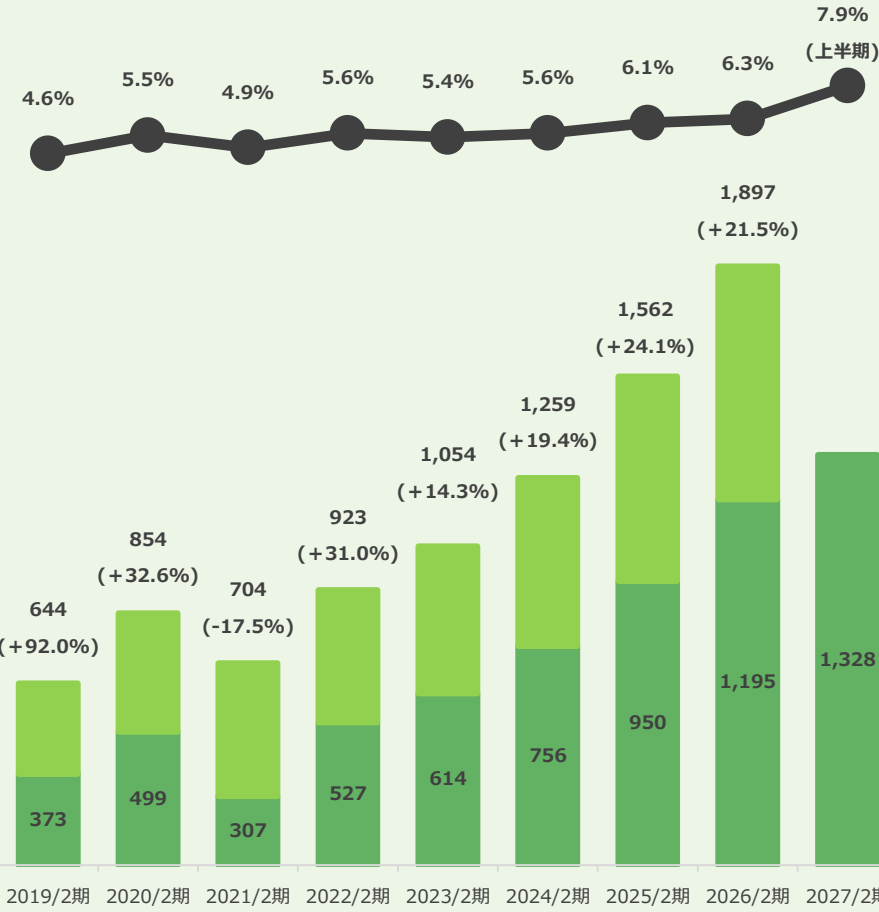
(単位：百万円)



■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

【経常利益・経常利益率】

(単位：百万円)



■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

3

経営統合契約の締結について

経営統合契約の締結について



株式会社三機サービス



Shin Maint
Holdings

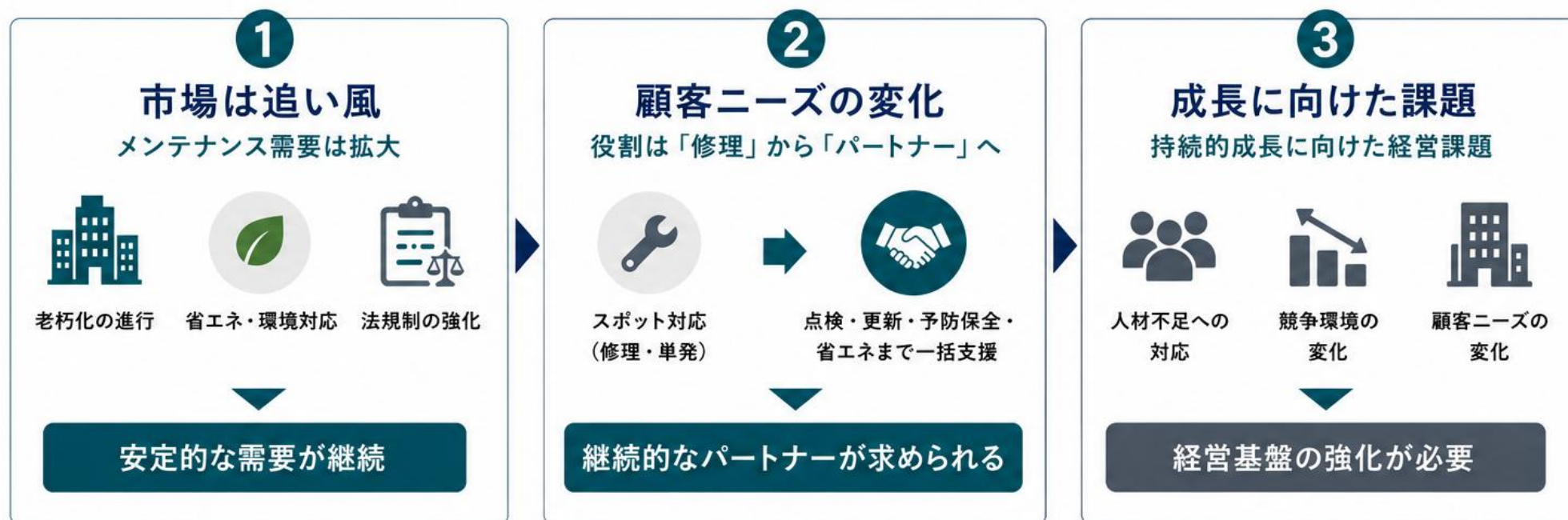
シンメンテホールディングス株式会社

統合後持株会社
三機シンメンテホールディングス株式会社

1 経営統合の背景・目的

メンテナンス市場は拡大する一方、単独での成長には課題

相互信頼・対等の精神に基づく経営統合で、新たな事業基盤を構築



ストック収益の拡大が、持続的成長の基盤

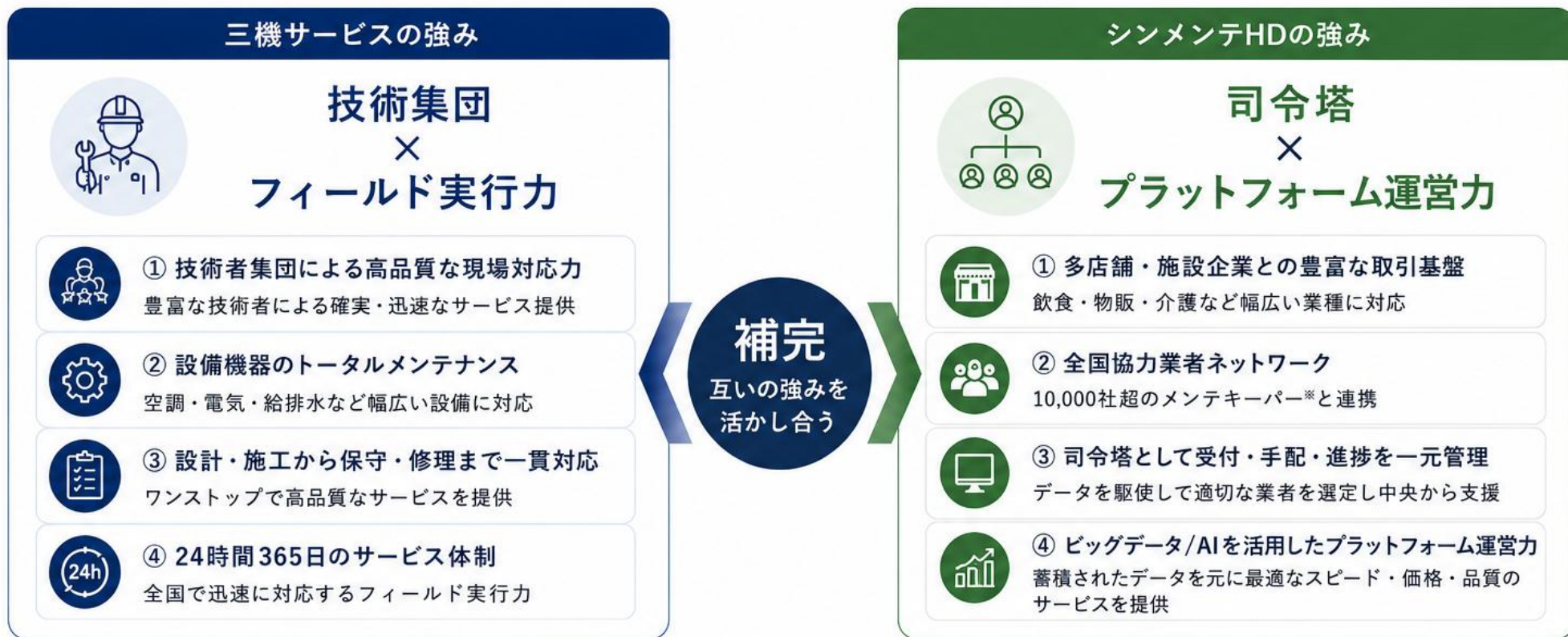
継続的なメンテナンスにより安定収益を確保し、次の成長投資につなげる



相互信頼・対等の精神に基づく経営統合により、
お客様への**提供価値**と**企業価値**をともに向上

2 両社の強みと補完関係

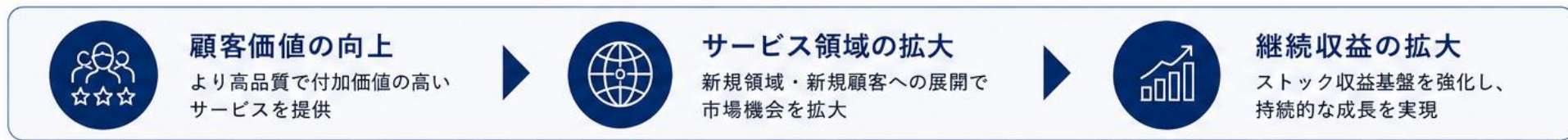
両社がそれぞれの強みを持ち寄り、互いを補完することで、より高い顧客価値と持続的な成長を実現



※メンテキーパーとは修理を担当いただく協力業者の呼称

技術力 × プラットフォーム運営力の融合

顧客提供価値を高め、持続的な成長を実現



3 経営統合により期待されるシナジー

三機サービスの「技術集団×フィールド実行力」とシンメンテHDの「司令塔×プラットフォーム運営力」の融合により、

6つのシナジーを創出し、成長の質を変える



両社の融合により、成長の質を変え、持続的な企業価値向上を実現

4 更なるM&Aで業界的課題の解決に貢献

経営統合で強化された経営基盤を活かし、お客様への提供価値向上につながる戦略的M&Aを推進
業界が抱える構造的課題の解決に貢献する

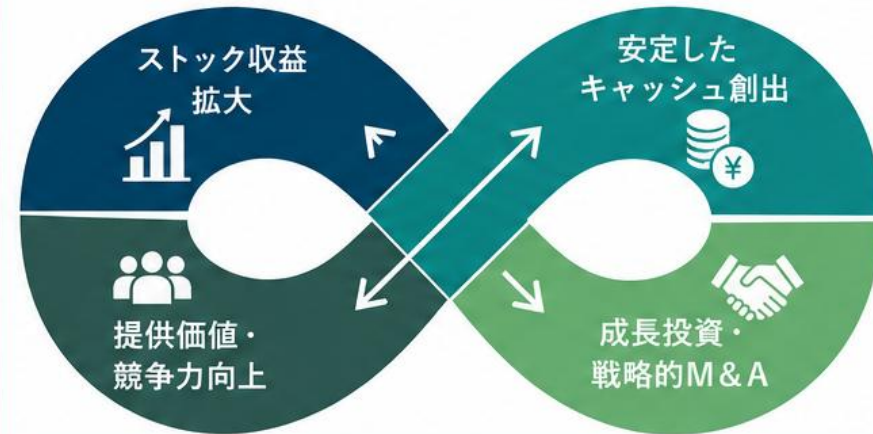
全国でより高い提供価値を実現する事業基盤



地域ごとに事業者が分散するメンテナンス業界において、品質・対応力の向上につながる業界基盤の強化を目指す

安定した収益基盤を活かした成長サイクル

安定した収益基盤を活かし、お客様への提供価値向上に資する成長投資・戦略的M&Aを推進



収益基盤の強化と成長投資の好循環により、お客様への提供価値向上をさらに加速



お客様への提供価値を高め、業界の構造課題の解決と持続的な成長を実現

5 経営統合後の体制

両社は株式交換により統合し、持株会社の商号変更等で事業会社間の対等性を表現
統合後は、三機シンメンテHDが各子会社を統治し、グループ全体の価値創造をリード



※ 各事業会社は持株会社の下で兄弟会社として並列する体制をとることで、
各事業会社のブランドや強みは維持する

4

2027年2月期 通期業績予想

(単位：百万円、%)

2027年2月期 業績予想

■ 右記業績予想について

2026年4月14日公表の業績予想を記載している。

■ 統合後の業績予想について

株式会社三機サービスとの経営統合を2026年12月1日に予定しており、統合後の2027年2月期業績予想については、開示基準に該当する事項が判明した場合、速やかに公表する。

損 益	2026年2月期 実績		2027年2月期 予想		前期増減	
	構成比		構成比		増減率	
売上高	29,946	100.0	33,367	100.0	3,420	11.4
売上総利益	6,859	22.9	7,644	22.9	785	11.4
販管費	5,001	16.7	5,642	16.9	641	12.8
営業利益	1,857	6.2	2,001	6.0	144	7.8
経常利益	1,897	6.3	2,010	6.0	112	5.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,239	4.1	1,323	4.0	84	6.8
1株当たり配当金	20円	—	22円	—	—	—

株主還元状況

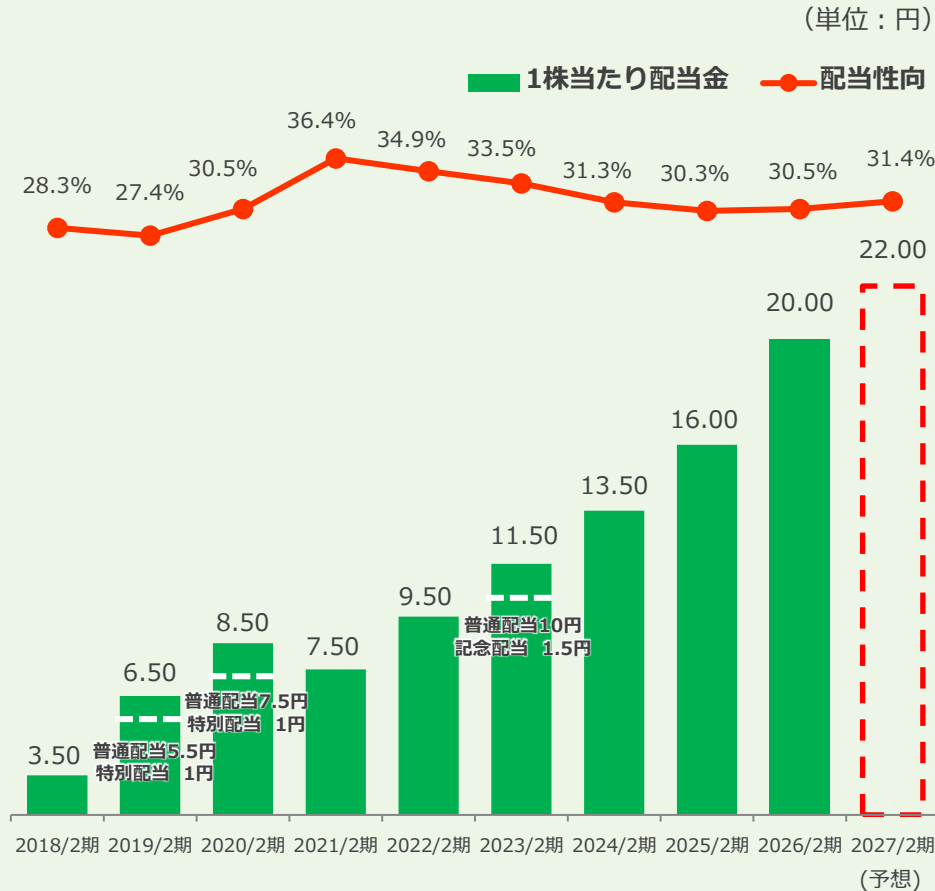
■ 配当方針

株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして、配当原資確保のための収益力を強化し継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする。

■ 統合後の配当について

株式会社三機サービスと2026年12月1日に経営統合を予定しているが、統合後も上記配当方針を基本方針とする。

【1株当たり配当金と配当性向】



(注) 過去の配当金については、株式分割の影響を考慮し、すべて遡及修正後の1株当たり配当金として表示しております。

【株主優待】

保有株数	優待内容
100株以上 600株未満	ジェフグルメカード 500円相当
600株以上 1,200株未満	ジェフグルメカード 1,000円相当
1,200株以上	ジェフグルメカード 3,000円相当



5

Q&A

質問	回答
業績変動は季節の影響が関係しているか。	関係している。夏場の猛暑や台風の影響で機器故障が多く発生する。
機器や部品の供給不足による影響はあるか。	影響はつけたが、事前に在庫確保等の対策を行っていた。
競争優位性はあるか。	自社でサービスマンを抱えず、全国メンテキーパーネットワークを駆使し、迅速に解決する。また、規模の経済によりメンテナンスコストを最適化している。
中期経営計画を出す予定はあるか。	国内外の政治、経済状況を見定め、ある程度見通しがつき次第、作成を検討している。

IRに関する免責事項

当資料は、投資家の皆様にシンメンテホールディングス株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・ 見通し等は、作成時点において当社が予測しうる範囲内で作成したものです。
- ・ 記載の見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・ 投資に関する決定は投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・ 掲載内容について細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

問い合わせ先

シンメンテホールディングス株式会社
I R担当

E-mail : info@shin-pro.com

Tel. : 03-6260-1572

Fax. : 03-6260-1840

ホームページ : <https://www.shin-pro.com/>